

Fujitsu Network 1FINITY

1FINITY
フォトニクスネットワークシステム



「1FINITY」(ワンフィニティ)ブレードは、従来の光伝送機器を、WDM/トランスポート/スイッチ機能分離(ディスアグリゲーション)し、それぞれ1RUサイズのブレードで実現した新たな光伝送製品です。



1FINITY Lブレード

WDM機能

光波長多重による大容量伝送を行い、目的に応じてポイント-ポイント、メッシュなど柔軟なネットワーク構築が可能な製品群。



1FINITY Tブレード

トランスポート機能

ルーターやスイッチからのデータ信号を多重化し、メトロ網(都市圏)、コア網(都市間)、および長距離向けに大容量伝送機能を提供する製品群。



1FINITY Sブレード

スイッチ機能

多種多様なインターフェースを収容し、イーサネットスイッチ機能を提供する製品群。

1FINITYのコンセプト

規模に適した設備投資

- 必要な機能のブレードを選択することで、要件に合った最適なネットワークの構築が可能となり、規模に応じた適切な設備投資が可能。
- システムの新設時や拡張時の投資を最小限に抑え、コスト最適化に貢献。

ランニングコストの最小化

- 当社独自の高密度実装技術により、1RUのブレードに機能を凝縮。
- 従来のシャーシ構造の装置では、固定的な設置スペースが必要であるのに対し、ブレード化によってラック内の空きスペースの有効活用やコロケーション費用の削減が可能。
- 必要機能のみで構築可能なため、消費電力も節約。

ネットワークの継続的進化

- ブレードによる機能提供により、最新のネットワーク技術を迅速に適用可能。
- ネットワークの継続的な進化とスムーズなマイグレーションが可能。

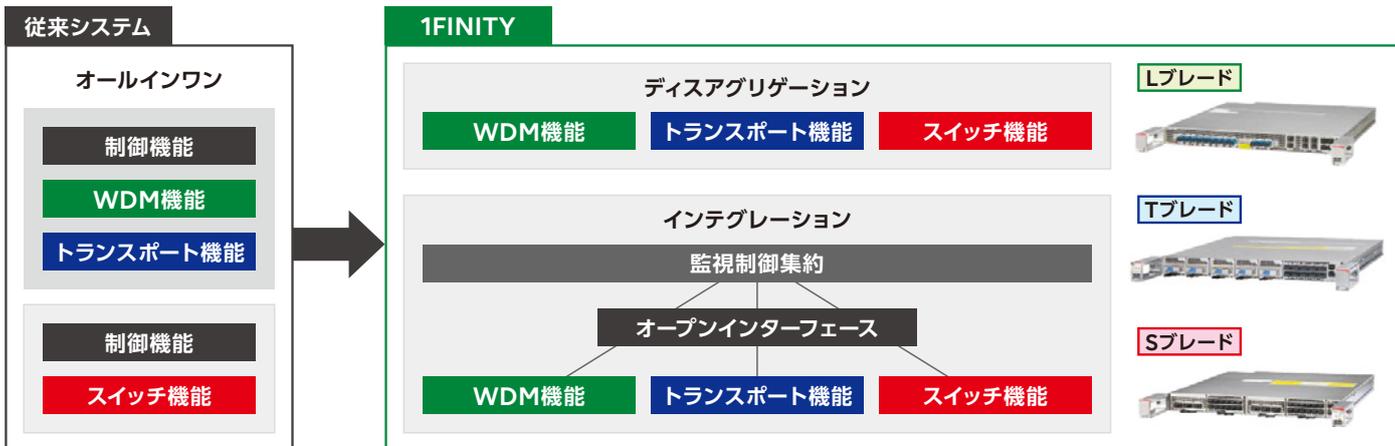
フレキシブルな運用

- 当社SDNソフトウェア「Fujitsu Network Virtuora NC」により、1FINITYブレードの運用管理/制御が可能。SDN技術(運用自動化等)により、様々な要件のサービス要求に素早く・安心安全に対応。
- 1FINITYブレードの監視制御プロトコルには、SDN化に柔軟に対応が可能なNETCONFを適用。

1FINITYのアーキテクチャー

1FINITYシリーズは従来のオールインワン型装置から、ニーズに応じて個々の機能を選択、配備可能なディスアグリゲーションアーキテクチャを採用。

ディスアグリゲーションされた各装置はオープンインターフェースを用いて統合運用することも可能。

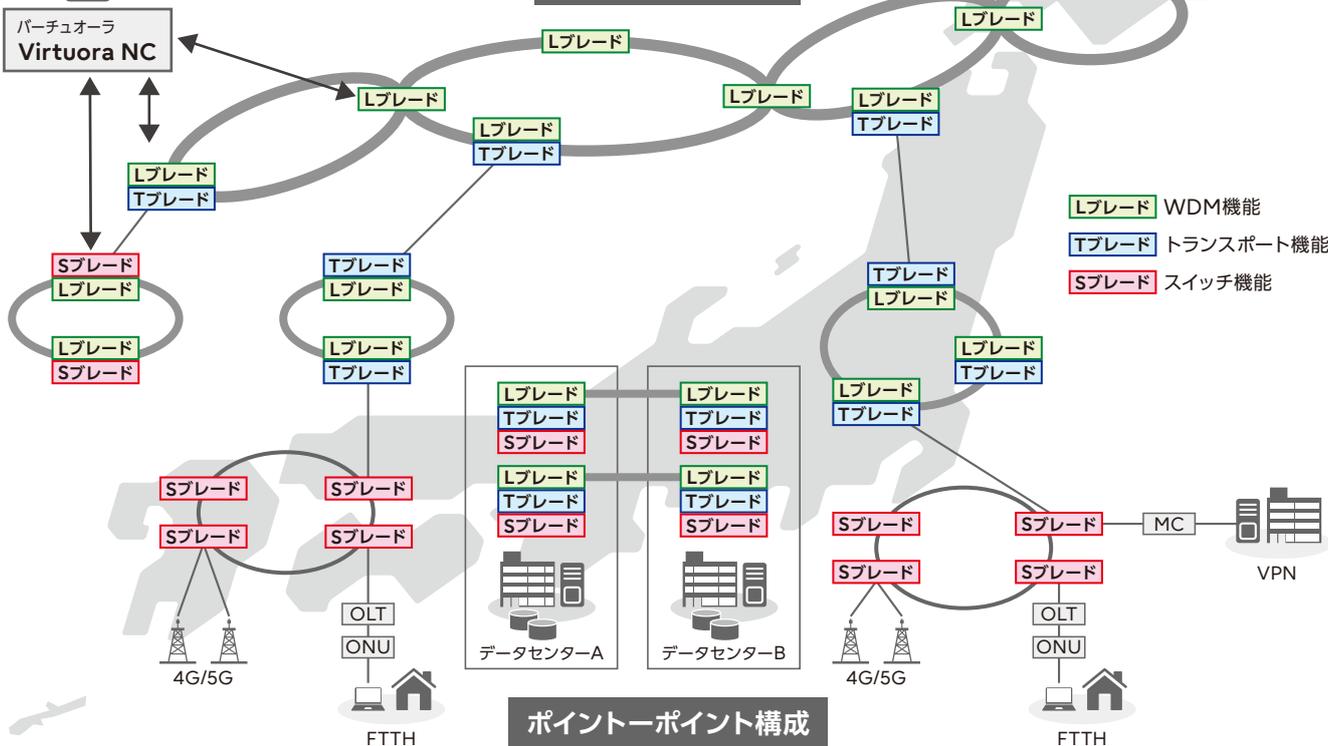


ネットワーク構成例

ディスアグリゲートされたブレードを組み合わせることにより、ニーズに応じたシステム構成を提供可能。

統合監視制御

ネットワークの物理/論理構成を一元管理するソフトウェア



●記載の製品仕様および外観は改善のために予告なく変更する場合があります。●写真は印刷のため製品の色と多少異なる場合があります。

製品・サービスについてのお問い合わせは

富士通株式会社
富士通コンタクトライン (総合窓口) 0120-933-200

受付時間：9:00～12:00および13:00～17:30 (土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く)

製品サイト：<https://www.fujitsu.com/jp/products/network/carrier-router/photonicnetwork/1finity/>